

那賀川水系の未来を考える勉強会(阿南市農業委員会)

- 開催日：3月27日(月) 14:40~15:20 (質疑 15:20~15:30) 於 阿南市役所 603~604会議室
- 参加者：阿南市農業委員並びに農地利用最適化推進委員 約20名
- 説明者(随行者)：那賀川河川事務 副所長(阿南市、徳島県、那賀川農地防災事業所、那賀川河川事務所)

○説明内容

(オープニングトークとして肱川の二線堤などの事例を紹介)

1. 近年の水災害対策について

- ・気候変動による影響や社会への変化を踏まえ、流域の関係者全員が協働して「流域治水」へ転換する重要性を説明。

2. 那賀川流域の概要と水災害に係る特性

- ・那賀川の概要や地形を踏まえ、人々の暮らしの場が旧河道や低地に進出し、水害リスクが増加している状況を説明。

3. 治水の経緯と下流域の水害リスク

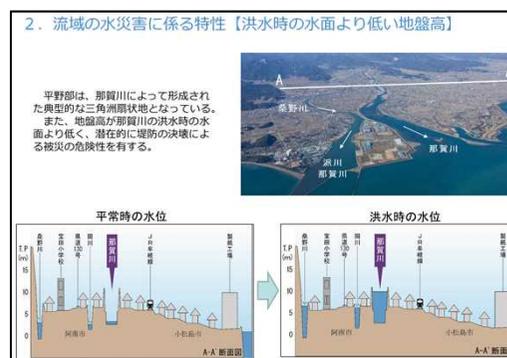
- ・下流域では、堤防整備により安全度は向上しているが、河川水位の上昇に伴い、侵食や漏水による水害リスクが高まる場合があり、その目安である「氾濫注意水位」を洪水時には確認するよう注意喚起。

4. 流域治水プロジェクトの事例(那賀川)

- ・阿南市長生地区等で実施している田んぼダムの取組み等について説明。



資料説明状況



説明資料

■勉強会で出された質問等

- ・堤防整備促進や維持管理に必要な予算確保の要望、築堤後の内水処理に関する質問があり、治水に対する関心の高さを感じた。
- ・羽ノ浦町の溜め池について質問があり、農地防災事業所より水質浄化施設であること、令和6年の灌漑期から稼働することが説明された。